

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 6月27日更新

事務事業名		子ども会育成連絡協議会助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	辻 健一
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	生涯学習課	担当者名	中村 考智
	基本事業	58	地域における子育て支援			所属班	生涯学習班	(内線)	1516
予算科目		会計一般	款10	項5	目1	事業連番10816	法令根拠	合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱 成果優先度評価結果：⑦ コスト削減優先度評価結果：⑥	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	子ども会育成連絡協議会が行う活動(スポーツ大会開催、子どもフェスティバル共催協力等)を支援するため、補助金の交付を行い、地域の子ども会活動の活性化を図る。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	育成連絡協議会会長からの補助金交付申請書を受理する。申請書審査後交付決定となれば交付決定書を発行して、育成連絡協議会会長からの請求書を受け、補助金を交付する。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	少子化や加入率の低下、役員の成り手不足など単位子ども会の運営に支障が出ているとの声がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	合志市子ども会育成連絡協議会(単位子ども会60団体)に対して、844、000円の助成金を交付。	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		合志市子ども会育成連絡協議会(単位子ども会60団体)に対して、844,000円の助成金を交付。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 助成金の額	円	
イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市子ども会育成連絡協議会会員		→ ア: 子ども会育成連絡協議会の会員数
		→ イ: 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
合志市子ども会育成連絡協議会の活動を活発に行ってもらう。		→ ア: 子ども会の行事数
		→ イ: 回
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
各地域の子ども会にて行事を活発に行ってもらうため。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込
① 活動指標	ア	円	844	844	844	844	844	844	844	844
	イ									
② 対象指標	ア	人	3,252	3,246	3,400	3,091	3,400	3,400	3,400	3,400
	イ									
③ 成果指標	ア	回	4	4	4	4	4	4	4	0
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円	844	844	844	844	844	844	844
		(A)事業費計	千円	844	844	844	844	844	844	844
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	0	1	3	0	0	0
人件費	延べ業務時間	時間	60	0	60	812	60	60	0	
	(B)人件費計	千円	242	0	244	3,235	244	244	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,086	844	1,088	4,079	1,088	1,088	844	

事務事業名	子ども会育成連絡協議会助成事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度も子ども会において同様の事業を予定している。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 助成金の支払い事務なので向上余地は無い。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に同様の事業は無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 子ども会への助成金は必要最低限のものであり、削減は難しい。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 助成金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 子ども会連絡協議会の活動は活発で、また市全域にわたり子どもが加入している組織は他には無く、助成金のレベルに相応していると思われ、公正さは保たれている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 助成金の支払い事務は行政事務であるため適正である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

助成金の支払い事務は滞りなく実施され、合志市子ども会育成連絡協議会の事業も計画どおり実施され、当初の目的は達成された。
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						